

平成29年度

# 事業報告書



## 目 次

1	事業総括	1～14 頁
2	障害者支援施設オイコニア	15～30 頁
3	グループホーム笑和	31～33 頁
4	相談支援事業所わらわ	34～35 頁
5	デイサービスセンター緑林荘	36～38 頁
6	デイサービスセンターさくら貝	39～41 頁
7	居宅介護支援事業所りよくりん	42～43 頁
8	職員研修	44～46 頁
9	配食サービス事業	47 頁
10	宿舎運営事業	48 頁

## 平成29年度 事業報告（総括）

社会福祉法人制度改正後、法人主体の経営を進めていくことがより一層明確になり、事業運営の独自性ととも、それを集約する法人のキャパシティーが求められることとなりました。このような中、「地域共生社会」の実現に向けた取り組みを積極的に実践していくこと、さらには、平成30年度介護報酬改定・障害福祉サービス費の改定に向けた情報収集と検討を重ねてきました。

6月22日、理事長岡田好夫が退任し顧問に就任することとなり、評議員会において、新たな理事2名と監事1名を含めた理事7名と監事2名が選任され、理事岡村理佐が理事長に就任しました。理事会を年間5回開催し、法人の経営的な部分と財務規律面を重点的に議論してきました。

### 今年度は以下の項目を重点的に取り組みました

○「働き方改革」一億総活躍社会の実現に向け、多様な価値観、生活スタイルに合わせたワーク・ライフ・バランスに考慮した働き方の実現が求められることとなり、平成16年4月に導入してきた人事制度を法人全体の人材力・組織力の強化を図るため、人材マネジメント制度と改めました。さらに、職員が働きやすい環境づくりを目指し「複線型」の人材マネジメント制度とすることで、短時間勤務を希望する職員、無期労働契約に転換の職員などを対象に“限定正職員”という雇用形態を新設することにより柔軟な働き方ができるよう諸規定の改正に取り組みました。

○昨年度に引き続き重点的な取り組みとしたリーダー養成研修は、対象者5名に外部講師による専門的な研修を年間3回、「人づくり」から今年は「組織づくり」をテーマとして第一線マネージャーの組織づくり等について学び、3回目には施設内発表会を行いました。2年間の取り組みの成果として、理論・実践的にリーダーとしての自覚が表れてきたと評価しています。

また、経営理念・経営方針のもと明成会中期行動計画とした3年目は「福祉と夢を語る」をテーマに取り組み、ご利用者の夢の実現に向けた取り組み事例を中四国の研修大会で発表し高評価を受けることができ、経営方針に基づくサービスを職員一人ひとりが考える一つの成功体験となりました。次年度以降の中期行動計画については、3月に検討会議を行い経営目標の達成に向けた具体的な実施項目を見直し策定しました。

○4月1日竣工式・落成祝賀会、5日に開設した「グループホーム笑和」は、早期満床に向けご利用者確保に努めてきましたが、経営面では大変厳しい状況が続いています。年度末にはほぼ満床の見通しが立ち、地域で障害のある方が共に生活する住まいの場として必要とされはじめ、さらに地域ニーズは拡大しつつあります。また、2月1日付けで「相談支援事業所オイコニア」をグループホーム笑和内に「相談支援事業所わらわ」として移転・名称変更を行い、地域の障害者の身近な場所で相談支援事業ができるとともに各関係機関が調整・連携を図りやすくなりました。

○4月の事業継続計画（BCP）の発行に合わせ原則として毎月1回、危機管理・防災対策委員会を設置し、策定したBCPの見直しと平常時におけるBCPの運用について協議、検討してき

ました。特に12月からは職員安否確認・参集システムを導入し、大規模災害時、職員に安否確認メールが自動配信されるなど連絡体制を整備しました。また、福祉避難所開設・運営マニュアルを2月に発行し、マニュアルに基づいた福祉避難所運営訓練も実施することができ、継続的な内容の訓練を計画的に行うことができました。今後も災害発生時に備えた地域の災害対応力向上を目指し、地域福祉の活動の一つとして取組むこととします。

○今年度の収支予算では、グループホーム笑和の開設によるものの他、拠点区分さくら貝・配食事業・居宅介護支援事業において収支差額はマイナスとなり、当初予算から法人全体の当期資金収支差額は約400万円のマイナスと厳しい経営を強いられました。さらに、町内に小規模多機能事業所の開設や機能訓練を重視した通所介護事業所の拡大など多様な在宅福祉サービスが充実してきたことにより、デイサービスセンター緑林荘では、重度のご利用者が減少し軽度のご利用者が増えた影響による第3次補正予算で大幅な減額補正となり、法人全体の当期資金収支差額は約1,800万円のマイナスとなりました。しかし、理事会を中心に予算について再度検討し、運営会を通して収入と支出の見直しを図り、第4次補正予算で初めて約300万円のプラスとなりました。

#### 主な収支状況について

○「オイコニア」の生活介護及び施設入所支援事業では、昨年度に比べ入院延日数は増加していますが、利用実績数は増えるとともに障害程度区分6の重度のご利用者が増えてきました。また短期入所利用者数は減少したものの在宅サービスの通所利用者は増えています。介護処遇改善加算の増額等もあり事業収入は前年比約4.7%増額となりました。昨年度から賞与引当金を計上し始めたこともあり、当期活動増減差額は約73%の増額となりました。

○「緑林荘」では、利用者数の減少とご利用者の平均要介護度の低下により事業収入が前年比約10%の大幅な減収となり、サービス活動増減差額は前年比の約38%となりました。特に要介護3以上の重度の利用者数の低下が著しく、これからの運営方針の見直しの必要性と、従来の在宅サービスの収益を他の事業に繰入する経営は成り立たなくなってきました。

○「さくら貝」は、ご利用者ニーズに合わせ利用定員を水曜日のみ15名に増員したことで利用者数が増え事業収入が前年比約11%増額となりましたが、常勤の看護師配置にともない人件費は伸び、サービス活動増減差額は前年比の約33%となりました。今年度から地域包括支援センターランチ事業を休止していることも影響しています。また、次年度以降さらに利用定員を増やす検討を行ってきました。

○「配食サービス事業」は、ご利用者のニーズは拡大傾向にあり事業収入が前年比約40%の大幅な増額となりましたが、調理委託経費等を実際の支出となるよう見直した結果、サービス活動増減差額は前年比の約72%のマイナスとなりました。しかし、公益的な取組みの一つとして、事業継続していくこととします。

その他、詳細については財務報告にて報告し、以上を平成29年度の総括とします。

## (1) 理事会・評議員会の開催

### 【 理 事 会 】

第1回 理事会 《平成29年5月30日（火）午後2時30分～午後3時50分》

＜理事：8名出席、監事：2名出席／議長：大崎理事＞

第1号議案 平成28年度事業報告について

【提案理由】 定款第33条第1項の規定にもとづく報告並びに審議

＜平成28年度 明成会事業報告の提示＞

1. 事業総括
2. 障害者支援施設オイコニア
3. 相談支援事業所オイコニア
4. デイサービスセンター緑林荘
5. デイサービスセンターさくら貝
6. 四万十町地域包括支援センターランチさくら貝
7. 居宅介護支援事業所りょくりん
8. 配食サービス事業
9. 収益事業（宿舍運営事業）

第2号議案 平成28年度財務報告について

【提案理由】 定款第33条第1項の規定にもとづく報告並びに審議

＜平成28年度 財務諸表の提示＞

1. 財産目録
2. 貸借対照表
3. 資金収支計算書
4. 事業活動収支計算書

第3号議案 平成29年度第1次補正予算（案）

【提案理由】 定款第32条第1項の規定による審議

〔オイコニア拠点区分〕

〔笑和拠点区分〕

〔居宅介護支援事業拠点区分〕

第4号議案 定款の一部変更について

【提案理由】

グループホーム笑和建築にともなう基本財産の追加及び会計処理基準の名称変更

第5号議案 諸規程の改正について

【提案理由】

・「役員等の報酬及び費用に関する規程」

評議員会において審議するための事前検討

- ・「経理規程」  
社会福祉法の一部改正に伴う一部改正の提案
- ・「準職員等就業規則」  
介護職員処遇改善加算区分の変更による支給日の見直し

第6号議案 社会福祉充実計画について

**【提案理由】**

経理規程第78条及び第79条の規定により社会福祉充実残額が有るため、社会福祉充実計画を作成し、評議員会の承認に向けた事前検討

第7号議案 次期役員（理事・監事）及び顧問について

**【提案理由】**

定款第15条第1項及び第16条第1項の規定により、次期理事・監事の選任に向けた事前検討。定款第23条第2項により、顧問について審議

第8号議案 定時評議員会の日程等について

**【提案理由】**

定款第12条第1項の規定により、定時評議員会の日程等について審議

第2回 理事会 《平成29年6月22日（木）午前11時10分～午前11時30分》  
＜理事：7名出席、監事：2名出席／議長：矢野理事＞

第1号議案 理事長・副理事長・常務理事の選定について

**【提案理由】**

定款第16条第2項の規定による理事長・副理事長・常務理事の選定

第3回 理事会 《平成29年9月13日（水）午前10時00分～午前11時40分》  
＜理事：7名出席、監事：2名出席／議長：吉岡理事＞

報告事項（理事長・常務理事の職務の執行の状況の報告）

- ①10月人事異動について
- ②事業経過
- ③予算執行状況

第1号議案 平成29年度第2次補正予算案について

**【提案理由】**

定款第32条第1項の規定による審議

- [オイコニア拠点区分]
- [緑林荘拠点区分]
- [さくら貝拠点区分]

[笑和拠点区分]  
[居宅介護支援事業拠点区分]  
[職員宿舎運営拠点区分]

第2号議案 諸規程の改正について

【提案理由】

- ・「ご利用者所持金等の保管等に関する規程」  
担当職員の変更に伴う見直しによる審議
- ・「準職員等就業規則」  
介護職員処遇改善加算区分の変更による支給の見直しによる審議

第4回 理事会 ≪平成29年12月13日（水）午後3時00分～午後4時40分≫

<理事：7名出席、監事：2名出席／議長：八木理事>

報告事項（理事長・常務理事の職務の執行の状況の報告）

- ①事業経過
- ②予算執行状況

第1号議案 平成29年度第3次補正予算案について

【提案理由】

定款第32条第1項の規定による審議

[オイコニア拠点区分]  
[緑林荘拠点区分]  
[さくら貝拠点区分]  
[笑和拠点区分]  
[配食事業拠点区分]  
[居宅介護支援事業拠点区分]  
[職員宿舎運営拠点区分]

第2号議案 諸規程の改正について

【提案理由】

育児・介護休業法の改正にともなう関連規則の見直しによる審議  
「就業規則」  
「準職員等就業規則」  
「嘱託職員就業規則」  
「育児・介護休業等に関する規則」



第5回 理事会 《平成30年3月19日（月）午前10時00分～午後12時40分》

＜理事：7名出席、監事：2名出席／議長：吉岡理事＞

報告事項（理事長・常務理事の職務の執行の状況の報告）

- ①事業経過
- ②予算執行状況
- ③平成30年度人事異動

第1号議案 平成29年度第4次補正予算案について

**【提案理由】**

定款第32条第1項の規定による審議

[オイコニア拠点区分]

[緑林荘拠点区分]

[さくら貝拠点区分]

[笑和拠点区分]

[居宅介護支援事業拠点区分]

[配食事業拠点区分]

[職員宿舍運営拠点区分]

第2号議案 平成30年度事業計画（案）について

**【提案理由】**

定款第32条第1項の規定における平成30年度事業計画書の審議

第3号議案 平成30年度収支予算（案）について

**【提案理由】**

定款第32条第1項の規定における平成30年度収支予算書の審議

第4号議案 諸規程の改正について

「複線型役割等級規程」「人事評価規程」

**【提案理由】**

人事制度の改正にともなう規程類の改正

「就業規則」

**【提案理由】**

複線型役割等級制度導入にともなう限定正職員を規則に追加、グループホーム笑和の勤務時間を追加、病気休暇取得手続きの見直し等による改正

「給与規程」

**【提案理由】**

人事制度の改正にともない給与規程全般を見直す改正

「準職員等就業規則」

【提案理由】

労働契約法に基づく「無期雇用転換ルール」の規定を追加、パート職員の定義の見直し、グループホーム笑和の勤務時間を追加。介護職員処遇改善加算にともなう「期末手当」「特別手当」の見直し等による改正

「嘱託職員就業規則」

【提案理由】

嘱託職員の人事評価対象外規定の削除、グループホーム笑和の勤務時間を追加。介護職員処遇改善加算にともなう「期末手当」「特別手当」の見直し等による改正

「障害者支援施設オイコニア 運営規程」

【提案理由】

生活介護の営業日の変更等による改正

「ご利用者所持金等の取扱に関する規程」

【提案理由】

担当職員の変更にともなう改正

「相談支援事業所わらわ 運営規程」

【提案理由】

名称・住所変更及び従業者数の変更による改正

その他 評議員会への平成30年度事業計画書及び収支予算書の報告について

## 【 評 議 員 会 】

定時評議員会 《平成29年6月22日（木）午前9時00分～午前10時50分》

評議員：11名出席、監事：2名出席、理事：4名出席

議長：長谷部評議員

議事録署名人：戸田晶秀評議員、浜田評議員

第1号議案 平成28年度財務報告について

### 【提案理由】

定款第33条第2項の規定にもとづく審議

＜平成28年度 財務諸表の提示＞

1. 資金収支計算書
2. 事業活動収支計算書
3. 貸借対照表
4. 財産目録

第2号議案 定款の変更について

### 【提案理由】

定款第10条第1項第5号の規定による審議

グループホーム笑和建築にともなう基本財産の追加及び会計処理基準の名称変更

第3号議案 次期役員（理事・監事）の選任及び顧問について

### 【提案理由】

定款第10条第1項第1号の規定による次期理事及び監事の選任

定款第23条第2項の規定による顧問について審議

第4号議案 役員及び顧問並びに評議員の報酬等支給基準について

### 【提案理由】

定款第10条第1項第2号及び第3号の規定による「役員等の報酬及び費用に関する規程」（案）の審議

報告事項

- 1 平成28年度事業報告について（定款第33条第2項の規定による）
- 2 平成29年度事業計画（定款第32条第2項の規定による）
- 3 平成29年度収支予算（定款第32条第2項の規定による）
- 4 平成29年度第1次補正予算（定款第32条第2項の規定による）

## (2) 役職員の研修等に関する事業

### 〔障害者支援施設オイコニア〕

- |     |        |   |
|-----|--------|---|
| 5月  | 2日(火)  | 人事評価者研修   |
|     | 11日(木) | 中四国身体障害者施設協議会総会・施設長研修会<br>(岡山市/岡村)                  |
|     | 12日(金) |   |
|     | 18日(木) | 介護福祉士基本研修(高知市/長谷川) 19日まで                            |
|     | 19日(木) | 高知県身体障害者(児)施設協会総会(高知市/岡村)                           |
|     | 31日(水) | 新任職員研修(高知市/西川・宮地・田邊)                                |
| 6月  | 3日(土)  | ノーリフト基本技術研修(高知市/武政) 4日まで                            |
|     | 6日(火)  | 中四国身体障害者施設協議会研修委員会(福山市/西村) 7日まで                     |
|     | 7日(水)  | 高知県社会福祉法人経営者協議会総会(高知市/岡村・矢野)                        |
|     | 20日(火) | 合同職員会   |
|     | 24日(土) | 介護福祉士基本研修(高知市/長谷川) 25日まで<br>ノーリフトケア研修(高知市/泥谷) 25日まで |
| 7月  | 6日(木)  | 全国身体障害者施設協議会研究大会<br>(高知市/岡村・矢野・吉岡・泥谷・竹内・中山・武政)      |
|     | 7日(金)  |   |
|     | 10日(月) | 運営会議  |
|     | 15日(土) | ノーリフトケア研修(高知市/泥谷)                                   |
|     | 18日(火) | 高知県相談支援従事者初任者研修(高知市/山崎)                             |
|     | 20日(木) | 中国・四国地区社会福祉法人経営者セミナー(広島市/岡村・吉岡)                     |
|     | 27日(水) | 高知県社会福祉法人経営青年会セミナー(高知市/矢野)                          |
|     | 31日(月) | 高知県立大介護実習連絡協議会(高知市/岩崎)                              |
| 8月  | 1日(火)  | 高知県経営者セミナー(高知市/岡村・矢野)                               |
|     | 2日(水)  | 安全運転管理者講習   |
|     | 19日(土) | ノーリフトケア研修(高知市/泥谷)                                   |
|     | 23日(水) | リーダー研修・新人研修・人事制度研修<br>(講師:鈴記裕幸氏) 25日まで              |
|     | 25日(金) | 中堅職員ファーストステップ研修(高知市/松田・今城)                          |
| 9月  | 4日(月)  | 福祉サービス苦情解決セミナー(高知市/岡村・西村)                           |
|     | 11日(月) | ノーリフト研修(高知市/土居) 12日まで                               |
|     | 12日(火) | 高知県相談支援従事者初任者研修(高知市/山崎) 14日まで                       |
| 10月 | 5日(木)  | 中四国身体障害者施設職員研修大会<br>(高松市/岡村・西村・山崎・今城・土居)            |
|     | 6日(金)  |   |
|     | 9日(月)  | 高幡圏福祉施設連絡協議会(梶原町/山中・西川)                             |

- 12日(木) 高知県社会福祉法人経営青年会セミナー(高知市/矢野)
- 11月 7日(火) リーダー研修・3等級昇格者研修・人事制度研修  
(講師:鈴記裕幸氏)10日まで
- 15日(水) 中四国身障協支援職員研修会  
(鳥取県/西村・長谷川)17日まで
- 21日(火) 高知県社会福祉法人経営青年会セミナー(高知市/矢野)
- 22日(水) 高知県社会福祉大会(高知市/岡村)
- 12月 1日(金) 誤薬事故防止対策セミナー(高知市/岡村・西村)
- 5日(火) 高知県サービス管理者研修(高知市/中平)
- 11日(月) 法人研修会(講師:澳本典之氏)
- 14日(木) ノーリフト研修(高知市/土居・武政)
- 1月 9日(火) 法人研修会
- 23日(火) リーダー研修・人事制度研修(講師:鈴記裕幸氏)26日まで
- 26日(金) 高知県経営者協議会後期セミナー(高知市/岡村)
- 2月 8日(木) 中四国身体障害者施設協議会総会(香川/岡村)
- 13日(火) 会計実務者決算講座(大阪/吉岡)
- 14日(水) 施設総合保険制度説明会(高知市/岡村・吉岡・西村)
- 16日(金) 障害福祉事業経営セミナー(大阪/岡村)
- 21日(水) 高知県身体障害者(児)施設協会生活部会(四万十市/岡村・矢野)
- 23日(金) 高知県青年会セミナー

#### 〔デイサービスセンター緑林荘〕

- 4月 14日(金) 21世紀委員会正副委員長会(高知市/岩崎)
- 21日(金) 地域ケア会議
- 26日(水) 高知県老人施設協議会総会(高知市/岩崎)
- 5月 2日(火) 人事評価者研修
- 25日(木) 合同研修会
- 6月 8日(金) 21世紀委員会代表委員会(高知市/岩崎)
- 22日(木) 合同職員会
- 29日(木) 四国老人福祉施設関係者研究大会(松山市/矢野・岩崎・佐々木)
- 30日(金)
- 7月 10日(月) 地域ケア会議

- 8月 2日(水) 安全運転管理者講習  
4日(金) 21世紀委員会西ブロック会  
23日(水) リーダー研修・新人研修・人事制度研修  
(講師：鈴記裕幸氏) 25日まで  
29日(火) 法人研修会(講師：澳本典之氏)
- 9月20日(水) 四国ブロックカンントリーミーティング実行委員会  
(香川県/岩崎)  
22日(金) 全国研究会議実行委員会(高知市/岩崎)
- 10月17日(火) 全国研究会議(高知市/岩崎) 18日まで  
26日(木) 合同研修会
- 11月 7日(火) リーダー研修・3等級昇格者研修・人事制度研修  
(講師：鈴記裕幸氏) 10日まで
- 1月19日(金) 21世紀正副委員長会(高知市/岩崎)  
地域ケア会議  
20日(土) 認知症ケア研修  
23日(火) リーダー研修・人事制度研修(講師：鈴記裕幸氏) 26日まで  
30日(火) 要配慮者利用施設管理者研修(四万十市/岩崎)
- 2月 5日(月) 四国老協セミナー(高知市/岩崎) 6日まで  
16日(金) 高知県カンントリーミーティング(高知市/岩崎)

#### 【デイサービスセンターさくら貝】

- 4月26日(水) 高知県老人施設協議会総会(高知市/岩崎)
- 5月 2日(火) 人事評価者研修
- 6月22日(木) 合同職員会  
29日(木) 四国老人福祉施設関係者研究大会(松山市/北川)  
30日(金) ]
- 7月25日(火) 避難所運営マニュアル委員会
- 8月23日(水) リーダー研修・新人研修・人事制度研修  
(講師：鈴記裕幸氏) 25日まで  
29日(火) 法人研修会(講師：澳本典之氏)

- 9月 3日(日) 興津地区自主防災地震想定避難訓練  
21日(木) 防火管理者研修(北川)
- 10月17日(火) 全国研究会議(高知市/北川・窪田) 18日まで
- 11月 7日(火) リーダー研修・3等級昇格者研修・人事制度研修  
(講師:鈴記裕幸氏) 10日まで  
27日(月) 人事評価検討会
- 12月 9日(土) 興津地区地域ぐるみ防災炊き出し訓練
- 1月 9日(火) 法人研修会  
30日(火) 要配慮者利用施設管理者研修(四万十市/北川)  
避難所運営マニュアル検討会
- 2月 5日(月) 四国老施協セミナー(高知市/北川) 6日まで
- 〔グループホーム笑和〕**
- 4月13日(水) 高知県社会福祉法人経営青年会理事会(高知市/大崎)
- 5月 2日(火) 人事評価者研修  
16日(金) 全国社会福祉法人経営青年会委員会総会(東京都/大崎)
- 6月 7日(木) 高知県社会福祉法人経営者協議会総会(高知市/大崎)  
16日(火) 全国経営協中国四国ブロック協議会会長会議(高松市/大崎)
- 7月20日(木) 中国・四国地区社会福祉法人経営者セミナー(広島市/大崎)  
27日(木) 高知県社会福祉法人経営青年会セミナー(高知市/大崎)
- 8月18日(金) 発達障害の学習会  
23日(水) リーダー研修・新人研修・人事制度研修  
(講師:鈴記裕幸氏) 25日まで  
29日(火) 法人研修会(講師:澳本典之氏)
- 10月12日(木) 高知県社会福祉法人経営青年会セミナー(高知市/大崎)  
19日(木) 経営青年会全国大会(徳島県/大崎) 20日まで  
27日(金) 高知県サービス管理者研修(高知市/大崎)
- 11月 7日(火) リーダー研修・新人研修・人事制度研修  
(講師:鈴記裕幸氏) 10日まで

- 17日（金） 全国経営協中四国ブロック協議会（香川県／大崎）  
21日（火） 高知県社会福祉法人経営青年会セミナー（高知市／大崎）
- 2月 8日（木） 災害協定研修会  
16日（金） 中四国ブロック会議（香川／大崎）  
23日（金） 高知県青年会セミナー（高知市／大崎）



### (3) 施設・設備整備等の事業

平成29年度の施設・設備整備事業は、つぎのとおりです。

<注：10万円以上の「固定資産」「修繕」等を掲載> (千円未満切り捨て)

#### 〔オイコニア〕

##### 〔構築物〕

・カーポート 594千円

##### 〔備品〕

・パートナー 669千円

・理事長室応接セット 349千円

・防犯カメラ 810千円

・低床3モーターベッド8台 967千円

・厨房洗浄機 689千円

・プリンター 129千円

##### 〔ソフトウェア〕

・財務会計システム 450千円

##### 〔修繕〕

・食堂・ダイルーム仕切り戸修理 164千円

・玄関照明器具取替工事 183千円

・飛散防止フィルム 725千円

・自火報受信機取替工事 1,137千円

・厨房床改修工事 864千円

・理事長室床カーペット張替工事 151千円

・発電機修理 297千円

#### 〔緑林荘〕

##### 〔構築物〕

・カーポート 810千円

##### 〔修繕〕

・洗面器設置工事 179千円

#### 〔居宅りょくりん〕

##### 〔ソフトウェア〕

・ケアマネソフト 811千円

#### 〔配食〕

##### 〔車両〕

・冷蔵車 1,700千円

## 《 障害者支援施設オイコニア 》

### 生活支援の状況

ご利用者の自己選択・自己決定を尊重しながら、その人らしい豊かな生活を送ってもらうために、何が必要であるかを共に考えながらサービスの提供に努めた。また、個々の問題点やできない部分を見るのではなく、ストレングスな部分に焦点を当て個別支援計画の作成に努めた。

日中活動事業である生活介護サービスについては、サービス内容の充実にむけて、支援体制の構築を図りながら、日中活動支援プログラムの新たな取り組みを行い、より充実した日中活動の提供を行った。

居住支援事業の施設入所支援については、職員による支援のばらつきをなくすために業務の見直しを行い、確認チェックを行える体制作りを確立することで標準化された質の高いサービス提供にむけた取り組みを行った。

短期入所サービスについては、定期利用者の利用日数の増加、及び新規利用者の確保により安定した状態である。しかし、満床時には希望通りの受け入れができないことがあり、調整が必要なケースが増えてきている状況である。

#### 1. 相談・支援活動

ご利用者と信頼関係を築けるよう、ご利用者の心身の状況や置かれている環境などの把握に努め、ご利用者やご家族の相談に適切に応じ、必要な助言その他の支援を行ってきた。また、ご利用者や職員、他のご利用者などから情報を収集し、問題の原因を検討し、問題解決に努めた。

#### 2. 個別支援計画の充実

ご利用者のニーズを捉えた個別支援計画を作成するために、アセスメントを行い、ご利用者の生活全体を把握し、生活をしていくうえで解決すべきニーズを明らかにしながら、ご利用者（必要に応じてご家族等）の要望に基づき、3ヶ月に1回の定期的な支援計画の策定・見直しを行うとともに、支援方法にズレが生じないように努めた。

#### 3. ライフサポートチーム

各委員会が研究テーマを設け、中・長期目標達成に向けて定期的に見直しを行いながら、ご利用者の生活の質の向上に努めると共に安全・安心した生活が送れる活動を行った。

また、1月には各委員会が年間の活動報告をまとめ事例研究発表を行うことで、全職員が委員会活動の理解を行った。

また、各職種間連携を強化し、ご利用者個々のニーズに沿った日常生活の充実が図れるように努めた。

#### 4. 介護技術

「高知県介護福祉機器等導入支援事業」より3モーターベッド、アームレスト跳ね上げ式車椅子、スマイルシートの購入をして、ご利用者の安楽な支援と職員の介助時の負担軽減を図った。

他にも、マルチグローブを全職員へ配布し、使用を推進することで、介助時のご利用者、職員共に負担軽減となっている。

また、職員の腰痛予防対策、技術向上を図る為に、ノーリフト研修へ行き、技術を習得した職員による基本動作やボディメカニクス等の研修を定期的に行った。

## 5. 日中活動

定期的にご利用者にアンケートを行い、趣向を汲み取りながら日中活動内容の計画を行った。

集計結果より、ドライブや外出行事が多かったことから、そこが充実できるように計画を行った。今後も、マンネリ化を防ぎ、ご利用者に楽しんでもらえるような活動を提供する為、内容を工夫した。

## 6. 安全対策

福祉用具の使用ミスから事故が起こったこともあり、福祉用具の使用方法の研修などを密に行い、再発防止に努めた。

また、転倒報告書からのデータ分析を行い、どのご利用者がいつ・どんな時に・どのような転倒が起こっているのか評価を行い、安全に生活できる環境の設定を行った。

## 7. 懇親会

ご利用者がより安心し快適な生活を提供できるよう、月1回の利用者自治会懇談会、及び2ヶ月に1回の利用者懇談会を開催し、意見や要望に対し真摯に受け止め対応に努めた。自治会役員懇談会での役員からの発言は、今年度も他のご利用者からの意見や要望を伝えるといった形は少なかった。

## 8. 苦情解決

苦情窓口と処理のための第三者委員の役割を明確化し、ご利用者の苦情に対し誠実に速やかに対応できる体制の確保を行った。今年度は、定期的に第三者委員の巡回訪問があったため、苦情解決の体制を確保することができた。

## 生活介護・施設入所支援（入所）

### 1. 市町村別入所者数一覧

平成30年3月31日現在

	安芸市	高知市	四万十市	宿毛市	市部計	土佐町	佐川町	日高村	越知町	梶原町	中土佐町	四万十町	黒潮町	大月町	町村部計	合計
男性		1	2	3	6	1			1	1	6	14	2	3	28	34
女性	1	3	1		5		1	1				8	1		11	16
計	1	4	3	3	11	1	1	1	1	1	6	22	3	3	39	50

### 2. 障害別一覧表

障害名	男性	女性	合計
脳性麻痺	7	2	9
筋ジストロフィー	1		1
脊髄損傷	9		9
脳疾患による後遺症	9	7	16
頭部外傷後遺症	2	1	3
麻痺による機能障害		2	2
水頭症	1		1
パーキンソン病	1		1
ダウン症	1	1	2
知的障害	2		2
その他	1	3	4
合計	34	16	50

### 3. 障害・療育手帳別一覧表

手帳類	男性	女性	合計
第1種1級	24	12	36
第1種2級	4	3	7
第1種3級	1		1
第2種3級	1		1
第2種5級	1		1
その他	1		1
療育 A1	2		2
療育 A2		1	1
合計	34	16	50

4. 年齢別一覧表

年齢	男	女	合計
20歳～29歳	2		2
30歳～39歳	2	1	3
40歳～49歳	4	2	6
50歳～59歳	6	4	10
60歳～69歳	14	2	16
70歳～79歳	6	6	12
80歳 以上		1	1
合計	34	16	50

5. 平均年齢

平成30年3月31日現在

	最少年齢	最高年齢	平均年齢	男女平均年齢
男性	28歳7ヶ月	79歳9ヶ月	58歳8ヶ月	60歳4か月
女性	34歳3ヶ月	87歳9ヶ月	63歳8ヶ月	

6. 上限月額徴収額

平成30年3月31日現在

No.	負担上限月額 (円)	人数
1	0	49
2	37,200	1
合計		50

7. 食費等徴収額

平成30年3月31日現在

No.	食費等負担額 (円)	人数	No.	食費等負担額 (円)	人数
1	0	5	15	43,278	1
2	14,949	1	16	43,996	1
3	15,125	1	17	44,771	3
4	19,866	1	18	44,802	1
5	33,962	1	19	45,112	1
6	36,812	1	20	45,174	4
7	37,083	1	21	45,422	6
8	37,269	1	22	47,995	1
9	40,214	1	23	48,770	1
10	40,617	1	24	49,421	1
11	41,310	1	25	52,521	1
12	41,922	1	26	53,110	11
13	42,508	1			
14	42,663	1	合計		50

## 8. 障害程度区分

平成30年3月31日現在

区分	男	女	計
3	2		2
4	4	1	5
5	6	4	10
6	22	11	33
合計	34	16	50

平均障害程度区分 5.5

## 9. 月別入退所及び月末在籍者数

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
入所	1		1		1					1				
退所			1					1						
在籍者数	33	16	33	16	33	16	34	15	34	16	34	16	34	16

	11月		12月		1月		2月		3月		計		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
入所								1	1		4	2	6
退所					1	1					2	2	4
在籍者数	34	16	34	16	33	16	33	16	34	16			

## 10. 月別利用実績

月別	延べ日数	外泊日数	入院日数	外泊等の合計
4月	1,421	7	42	49
5月	1,452	16	62	78
6月	1,434	14	52	66
7月	1,491	6	51	57
8月	1,481	37	19	56
9月	1,429	4	67	71
10月	1,453	10	87	97
11月	1,429	6	65	71
12月	1,512	15	23	38
1月	1,461	31	52	83
2月	1,334	3	32	35
3月	1,520	6	18	24
合計	17,366	155	570	725

前年度延べ日数 17,281日

11. 金銭管理状況

	男	女	計
全て自己管理	4	2	8
一部自己管理	12	8	20
全て施設管理	15	4	19
家族が管理	2	1	3
成年後見人	1	1	2
計	34	16	50

平成30年3月31日現在

全て自己管理＝印鑑、通帳、現金等全て自分で管理している。  
 一部自己管理＝通帳や印鑑、負担金等の支払は施設で行い、小遣程度の現金のみ自分で管理する。  
 全て施設管理＝通帳や印鑑、負担金等の支払、買い物等も施設が管理し行う。  
 家族等が管理＝年金は家族が管理を行い、日用品等の支払いは本人または施設が行う

生活介護（通所）

1. 利用実績

月別	延べ日数	利用実人数	月別	延べ日数	利用実人数
4月	58	9	11月	84	10
5月	67	9	12月	68	10
6月	75	9	1月	61	10
7月	67	9	2月	60	10
8月	77	9	3月	69	10
9月	72	10			
10月	85	10	合計	843	10

※ 支給決定市町村：四万十町・中土佐町・黒潮町

前年度延べ日数 613日

2. 障害程度区分

平成30年3月31日現在

区分	男	女	計
2	1		1
3	4	3	7
4			
5		1	1
6	1		1
合計	6	4	10

平均障害程度区分 3.4

## 短期入所

### 1. 利用実績

月 別	利用実人数	延べ日数	月 別	利用実人数	延べ日数
4月	11	63	11月	11	71
5月	10	86	12月	15	74
6月	11	35	1月	9	47
7月	14	59	2月	9	42
8月	12	69	3月	12	65
9月	13	71			
10月	11	58	合 計	138	740

※支給決定市町村：高知市・土佐市・須崎市・佐川町・日高村  
 ・越知町・津野町・中土佐町・四万十町・黒潮町

前年度延べ日数 829日

### 2. 障害支援区分

平成30年3月31日現在

区分	男	女	計
1		1	1
2		1	1
3	6	2	8
4	5	3	8
5	1	2	3
6	4	1	5
合 計	16	10	26

平均障害程度区分 4.3

## 日中一時支援（タイムステイ）

### 1. 利用実績

月 別	延べ日数	利用実人数	月 別	延べ日数	利用実人数
4月	3	1	12月	6	3
7月	5	1	1月	1	1
8月	5	1	2月	2	2
9月	3	2	3月	3	1
10月	7	3	合 計	37	3
11月	2	1			

※支給決定市町村：中土佐町・四万十町 黒潮町

前年度延べ日数24日



## 2. 障害程度区分

平成30年3月31日現在

区分	男	女	計
2 (児童)		1	1
3	1		1
6	1		1
合計	2	1	3

## 主な行事等実施状況

## 1. 施設内行事

開催日	行事名	場所	実施回数	実施内容
4月8日	お花見	屋内	1	季節を感じてもらおうと共に、ご利用者・職員との親睦を深めるとともに、近隣部落の方々と交流を図る。
6月14日 9月8日 2月27日	レストラン	屋内	3	レストランメニューの中から自由に注文し味わってもらう。
6月2日	ビアガーデン	屋内	1	ご利用者・ご家族・職員とともにまつりの雰囲気を楽しみながら親睦を深める。
12月6日	クリスマス・年忘れ会	屋内	1	ご家族を招き、ご利用者・職員ともに1年の無事を祝い、余興等行い楽しい一時を過ごす。
1月16日	新年会	屋内	1	新しい年の抱負を語り合い、余興などを楽しむ。

## (施設外ショッピング)

ショッピングに行きたいとの要望には、毎週日曜日の買い物の日に提供をするとともに、随時要望に応じて対応するよう努めた。

## (注文買物)

本人からの要望や外出が困難なご利用者に対しては、毎週火・金曜日に自治会で買い物注文の受付をしてもらい、職員が代わって買物を行った。

## (園内喫茶)

毎週木曜日に由菜の里に出張喫茶を開店してもらっている。

## (整 容)

美容院・理髪店へは、ご利用者の希望に応じ対応を行った。一方、外出できないご利用者には、美容院と理髪店の方に月1回来ていただき、カットや髪染め・パーマなどの施術をしてもらった。

(単独外出)

単独外出が出来るご利用者については、安全面など留意点を話し合い、本人の希望を尊重し外出してもらった。

## 2. 外出行事

実施日	行き先等	参加人数	実施日	行き先等	参加人数
4月	外食(町内) 2回	6	10月	一泊旅行(香川)	2
	ドライブ(町内)	5		コスモス祭り(越知町)	4
5月	ドライブ(町内) 2回	8	11月	外食(中土佐町)	4
	障害者スポーツ大会(春野)	7		魚釣り(中土佐町)	4
6月	パチンコ(須崎市)	2	12月	ミカン狩り(大月町) 2回	8
	ボーリング(高知市)	5		紅葉狩り(町内)	4
7月	ブルーベリー狩り(町内) 2回	11	1月	ショッピング(高知市) 2回	7
	道の駅 みなとオアシス久礼(中土佐町)	4		ときめきクリスマス(町内)	4
8月	道の駅 みなとオアシス久礼(中土佐町)	5	2月	初詣	4
9月	ボッチャ選手権大会(高知市)	2		ショッピング(伊野町)	3
	一泊旅行(香川)	3	温泉(黒潮町)	3	
	外食(町内) 2回	8	いちご狩り(南国市) 2回	7	
	他施設交流体験(高知市)	2	ボッチャ大会(香我美市)	2	
	劇団四季アンデルセン	1	ぶらり旅(高知市)	3	
			3月	ショッピング(高知市)	2
				お花見ドライブ(町内)	7

※ 外出行事年間37回実施

### <外出について>

平成30年3月31日現在

	男性	女性	合計
自己決定で単独外出している	5	3	8
自己決定で付き添って外出している	21	11	32
外出について意思表示が困難	8	2	10
計	34	16	50

※自己決定の困難な(意思表示の困難)ご利用者については職員が適宜、外出の機会を作り出来るだけ施設外に出て余暇を楽しめるように努めている。

### 3. 防災訓練

実施日	参加者	内 容
5月23日	入所者：40名 通所者：2名 短期：1名 職員：17名 計61名	厨房を火元に昼間の火災発生を想定し、通報・消火・避難を実施
7月24日	入所者：45名 通所者：3名 短期：2名 職員：15名 計65名	昼間の地震を想定し、避難を実施
10月27日	入所者：40名 通所者：4名 短期：1名 職員：12名 計57名	夜間に地震が発生し、機械室より火災が発生したと想定をし、通報・消火・避難を実施
11月30日	入所者：49名 通所：6名 職員：14名 計65名	総雨量が500mmを超えており、第2駐車場が川の増水により冠水している状態を予測して昼間想定にて風水害・土砂災害避難訓練を実施
1月17日	入所者：40名 通所者：1名 短期：2名 職員：13名 計56名	夜間の地震を想定し、避難を実施
3月15日	入所者：43名 通所者：1名 職員：14名 計58名	厨房を火元に昼間の火災発生を想定し、通報・消火・避難を実施

# 食生活支援の状況

## 1. 食生活の状況

今年度もご利用者に喜ばれる豊かで安全な食事作り、3食カフェテリア方式での選択食の実施を行った。旬の食材や地元食材の使用、ご利用者のニーズやリクエストには出来るだけ応えた献立作成を実施し概ね満足のいく食事の提供が実施できたと考える。

また給食食材管理においては、食品全般の価格アップの改定は継続している状況であるが、月間管理を行いながら食材管理の調整を行うことで予算内に収めることができた。来年度も献立内容の質は落とすことなく、市場の状況に合わせた柔軟な対応を実施していくことが求められる。

## 2. 栄養ケアマネジメント

ご利用者個々の栄養健康状態やニーズに合わせた栄養ケア計画の作成、見直しを行った。ご利用者、職員ともに支援計画と合わせてモニタリングすることで個々の健康状態や課題を総合的にみることができた。来年度も加齢や障害の進行などによる食事摂取状態の変動が予測されるため、体調に合わせた計画の作成、多職種と連携した支援を行い重症化を防いでいく。

また食事摂取基準に基づいた献立の作成、身体的機能に応じた食事の提供（治療食、ミキサー食、ソフト食、きざみ食など）に努めた。加齢や障害の重度化により個々の特性が一層多様化しており個々に合わせた食事形態の提供や質の向上が重要である。

## 3. ニーズの反映

月1回の利用者食生活検討会や嗜好アンケート調査（年2回）、残渣調査（計量）の結果、また、日常にご利用者とコミュニケーションを多くとるよう心がけ、ご利用者の嗜好の把握に努めた。また、意見・要望には出来るだけ早く応えるよう努力した。

## 4. 委託業者との連携

朝礼や申し送り、依頼文書等によりご利用者への対応方法や実施献立の説明と実施後の反省と改善等細かな連絡、指導を実施し委託業者との連携を図った。また、温度管理や食材搬入表などにより食材のより良い鮮度・品質の確保に努めた。マニュアルに基づいた衛生管理の実施、老朽化する調理設備・器具の点検等を行いご利用者に安全で喜ばれる食事の提供に努めた。

## 5. 行事食

### ・レストラン（3回実施）

毎回、レストラン担当職員とテーマを決め、テーマに合わせた献立を5種類準備し、好きなものを注文してもらっている。装飾・衣装など趣向を凝らし好評を得た。

【今年度のテーマ】 6月 雨にうたえば 8月 仁井田No.1 クラブ OIKONIA  
2月 ひなまつり

### ・平成29年度の主な行事食

- 4月 開設記念祝い御膳 お花見弁当
- 7月 ビアガーデン
- 12月 クリスマス年忘れ会（皿鉢・寿司・たたき・クリスマスケーキなど）
- 1月 おせち料理・新年会（皿鉢・にぎり寿司など）

\*その他、祭日や四季折々にあわせた行事食を提供し、食生活に変化と潤いを与えるよう努めた。

## 日常生活活動に対するリハビリの状況

居室やリハビリ室におけるリハビリに加え、他職種からの情報を元に実際場面に介入し、生活動作訓練や環境面の調整等を行った。車椅子や装具については、身体機能・生活状況等の評価を行い、生活状況を考慮した上で評価用紙を作成、各個人に合ったものを検討し適合を行った。今年度は、作業を分担して取り組める創作活動として、ちぎり絵を実施。可能な作業をできるだけ多くのご利用者が役割として行えるよう環境を整え、月ごとに目標を設定しながら、リハ室としてひとつの作品を完成させた。完成した作品は、季節ごとにデザインを変えながら廊下に展示し、季節感を感じて頂けるような工夫をした。

### 1. 残存機能の維持と改善・廃用症候群の予防

身体機能維持、生活動作の維持・改善を目的に、必要な機能訓練を実施した。身体状況の変化に合わせてリハビリ内容を検討し、必要に応じて変更を行った。生活動作に関しては、ご利用者からの訴えや他職種からの情報、日々の身体状況を元に生活場面へ介入した。実際の生活場面での評価から動作訓練を行うとともに、自助具等の検討や工夫を行った。また、実際場面での伝達を行い他職種との連携を図りながら、ご利用者ひとりひとりに合った福祉用具を検討し導入している。

### 2. 社会生活意欲の向上

作業所利用しているご利用者に対し、モチベーション維持の目的で定期的に聴き取りを行った。目標設定は具体的に設定し、達成感が得られやすいよう工夫した。

### 3. 意欲的活動性の向上

ご利用者の興味・関心ある活動を実施することで、楽しみや自己有能感を感じてもらうことを目的に、ニーズの聞き取りを行いながら各個人に合わせた活動を提供した。例年同様、日中活動の時間を利用し、専門学生による創作活動を実施。自助具や作業方法の工夫を行い、自力で行える環境設定の中で、創作活動だけでなく交流の場も提供することができた。通所ご利用者等、これまで参加したことのない方の参加を促すことができた。

### 4. 自助具等福祉用具の提案作成

日常生活で使用する自助具は、本人や他職種から依頼があった際や必要と判断した際に作成・修繕を行った。ご利用者や生活支援員を中心に聞き取りと確認を実施。必要な場合には、購入、申請を促した。新規購入時などには、修繕、再度購入することなども考慮して提案した。購入を検討する際、リハ室に準備してある自助具を使用することで、生活場面で実際に検討することができた。必要な場合には、業者に相談し、オーダーメイドの自助具を作成依頼した。

### 5. リハビリ実施状況

平成29年度リハビリの対象として行ったご利用者の数は、入所者47名、通所者8名、短期入所者7名（加算外）である。実施頻度について入所者は週1～4回、自主トレーニング可能な方は週3～5回実施しており、通所の方については利用日に実施している。1日に実施している人数は合計2～19名、平均5.3名である。

## 健康管理の状況

加齢による身体機能の低下が顕著であることから、ご利用者の日々の健康状態の把握に努め、疾病の早期発見と治療、予防へと他職種と連携をしながら今年も取り組みを行ったが、今年度は急性心不全にて1名、誤嚥性肺炎で1名のご利用者が死亡された。又、精神障害の入所者が増加したことで、内服調整の為精神科受診や入院治療が増えた上に、施設での生活が困難となり2名のご利用者が退所された。

今年度は、肺炎や精神科の薬の調整、持病の悪化等にて入院日数は前年度を上回った。引き続き対応には注意し健康で過ごせるよう日々状態把握に努める。

今年度もインフルエンザワクチンの混合接種を11月～12月にかけて全ご利用者、職員を対象に実施するとともに、施設内感染の予防対策として、全職員に周知徹底するなど衛生管理の強化を行ったが、インフルエンザに職員・ご利用者合わせ18名が感染した。引き続き感染対策の強化に努める。

### 1. 取り組み

実施月	内 容
4月	園内消毒
4～6月	ご利用者健康診断の実施（胸部レントゲン・検尿・採血） ※採血は4～3月まで分散して2回／年実施 職員健康診断の実施（胸部レントゲン・採血・検尿）
6～9月	食中毒の予防
10月	ご利用者・職員（夜勤者のみ）の健康診断の実施（検尿・採血）社会保険による検診
10～12月	季節型・新型インフルエンザ予防接種（嘱託医により実施）
12～3月	ご利用者・職員のインフルエンザ・ノロウイルス等感染症の予防
4～3月	歯科医による往診にてご利用者の口腔衛生について1回／月の指導。 嘱託医師にて2回／週（水・土）に定期回診

### 2. 通院状況

通院科目	実人数	延べ回数	通院科目	実人数	延べ回数
歯 科	40	100	外 科	7	11
内 科	14	44	脳 神 経 外 科	5	17
泌 尿 器 科	8	23	神 経 内 科	3	12
整 形 外 科	2	9	精 神 科	7	21
皮 膚 科	3	9	眼 科	6	10
婦 人 科	1	2	総 合 診 療 科		
耳 鼻 科	2	5	胃 瘻 交 換	7	12
消 化 器 科			合 計	105	275

### 3. 入院状況

入院科目	実人員	延人数	延べ日数
外科			
内科	8	10	207
脳神経外科			
泌尿器科	1	1	4
精神科	2	4	290
形成外科			
整形外科	1	1	85
合計	12	16	586

前年度延べ日数 500日

### 4. 特別な医療行為者数

区 分	人 数	
気管切開の処置	1	
経管栄養	経鼻	1
	胃ろう	6
バルンカテーテル	9	
合計（重複者あり）	17	

平成30年3月31日現在

## 実習生受け入れ状況

近年、福祉施設への従事者が激減している中、自ら当施設の実習を希望される学生もおおり、本年度も今まで以上に育成校や実習生との意見交換や個々の気持ちの聞き取りを行い、出来る限り要望に沿えるよう実習プログラムを立てた。高齢者施設と障害者施設との明らかな違いを生徒も認識しており、障害者施設における支援のあり方や楽しみなどについても理解を深めてもらった。また、職員は、実習生を通して、日頃のケアのあり方や福祉施設職員としてのあり方などを見直すことができ、サービスの質の向上につながっている。ただ、職員の考えと学生の聞き入れ方にズレが生じることもあり、その時の状況だけで判断し誤解をされる場合もあり、伝え方の工夫も必要となってきている。

今後も学校と連携を密にとりながら、実習生それぞれの個性を尊重した指導育成を心掛けるとともに、実習生を通して職員全体の意識向上にも努めたい。

(実習受け入れ一覧表)

平成福祉専門学校

開催月日	内 容	人 数
平成30年 1月22日～2月10日	第2段階	2名
	合 計	2名

高知県立大学

開催月日	内 容	人 数
平成29年 8月8日～8月30日	介護実習Ⅱ-②	2名
平成30年 2月12日～3月10日	介護実習Ⅲ-③	3名
	合 計	5名



## 介護職員初任者研修受け入れ状況

平成29年度介護職員初任者研修演習指導依頼をしまんと町社会福祉協議会より受託し実施した。受講生は、ほとんどの方が福祉施設において介護者として従事されており、対象となるご利用者を想像しながらの研修となったと思われる。

また、演習指導担当者を行った生活支援員も、それぞれが指導者としての目的意識を持ち、役割を果たすことで改めて福祉施設職員としての自信と誇りを実感できる有意義な経験となった。

(演習受け入れ一覧表)

しまんと町社会福祉協議会

開催月日	内容
11月13日	排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護
11月14日	移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護
11月15日	食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護
11月16日	睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護
11月17日	整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護
11月21日	入浴・清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護
11月22日	介護過程の基礎理解
11月28日	総合生活支援技術演習

## 《グループホーム笑和》（共同生活援助）

開設初年度という事もあり、四万十町役場健康福祉課やその他の市町村障害福祉担当課、各相談支援事業所に対し情報提供を行いながら、ご利用者の確保に向けた取り組みを行い、ほぼ満床状態となることができた。また、ご利用者一人ひとりが地域において自立して日常生活及び社会生活が営むことができるよう、各相談支援事業所並びに就労継続支援事業所と連携をしながら生活の質の向上、維持を目指した取り組みを行った。さらに、信頼関係の構築が図れるよう心身の状態などの把握に努め、個々の状況に合わせて適切な助言や必要な支援を行ってきた。

ご利用者の心身の状態には波があり、常にその状態に合わせた支援を必要とする状況ではあるが、個々の状態に合わせ早期対応を図ることで安定した生活が維持でき、全ご利用者が落ち着いた状況で生活をしてきたが、2月下旬頃から家庭環境等の変化による不穏状態が続き1名が入院を検討している。

グループホームの存在は、地域でその人らしい自立した生活をするうえでは必要なものとなっている。

### 1 事業内容

- (1) 日常生活の支援
- (2) 社会生活の支援
- (3) 医療的支援
- (4) 日中活動支援
- (5) 社会生活の支援
- (6) 個別支援計画の作成

### 2 行事内容

	行 事 名
5月	ドライブ（梶原町） 避難訓練（昼間火災想定）
6月	避難訓練（昼間地震想定）
7月	避難訓練（夜間火災想定）
8月	ショッピング（フジグラン四万十）バーベキュー、お好み焼きパーティー 避難訓練（昼間風水害想定）
9月	避難訓練（夜間地震想定）
10月	お好み焼きパーティー、避難訓練（夜間火災想定）
11月	ショッピング（サニーアクシス）、誕生日会、あさぎりバザー 避難訓練（昼間火災想定）
12月	クリスマス会、避難訓練（夜間地震想定）
1月	初詣、誕生日会、避難訓練（夜間風水害想定）
2月	豆まき、誕生日会、避難訓練（昼間地震想定）
3月	誕生日会、避難訓練（夜間火災想定）

### 3 市町村別入所者数（体験利用含む）

	男性	女性	合計
四 万 十 町	4	4	8
中 土 佐 町		1	1
い の 町	1		1
合 計	5	5	10

4 年齢別入所者数（平成30年3月31日現在）

	男性	女性	合計
20歳～29歳	1	1	2
30歳～39歳		1	1
40歳～49歳			
50歳～59歳	2	1	3
60歳～64歳	1		1
65歳以上			
合計	4	3	7

	男性	女性
最少年齢	23歳6ヶ月	20歳10ヶ月
最高年齢	64歳0ヶ月	59歳4ヶ月
平均	49歳8ヶ月	39歳1ヶ月
男女平均	45歳1ヶ月	

5 障害支援区分別利用実績集計表（平成29年4月5日～平成30年3月31日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
非該当	23	36	54	90	30	33	31	35	29	37			398
区分1								16	30	31	55	62	194
区分2	24	23	4	4	81	84	79	87	81	82	70	73	692
区分3		7	33	31	31	37	31	44	31	57	52	55	409
区分4													
区分5													
区分6													
延人数	47	66	91	125	142	154	141	182	171	207	177	190	1,693

（体験利用含む）

## 6 入院状況

入院科目	実人員	延人数	延べ日数
内 科	1	1	1 1
精 神 科	1	2	6 1
泌 尿 器 科	1	1	1 0
合 計	3	4	8 2

## 7 見学者受入れ状況

受入日	所属機関名	受入れ人数
4月20日	四万十町役場健康福祉課	20
4月21日	ほっとサロン	8
4月25日	津野町自立支援協議会	40
4月27日	由菜の里	15
6月26日	認知症家族会	8
6月29日	中土佐町自立支援協議会	11
7月13日	あったかくぼかわ	1
7月14日	カーネーションの会	7
7月31日	四万十町障害者家族の会	8
8月 1日	窪川荘	2
8月21日	高知ハビリテーリングセンター	3
	中土佐町相談支援事業所	2
8月22日	高吾北広域町村組合相談支援事業所	4
8月31日	中土佐町相談支援事業所	3
12月27日	佐川町社会福祉協議会	3
1月20日	窪川地区民生児童委員	40
1月29日	一陽病院	3

(個人的な見学についても随時受け入れを行った)

## 《相談支援事業所 わらわ》

平成29年度も四万十町役場健康福祉課や各事業所と連携しながら、主に町内で在宅生活をされている方の計画作成などに取り組んできた。

平成30年3月末現在、特定相談で受けている方は60名で、四万十町から委託されている一般相談は7名である。相談支援専門員が専従体制になったことで、より深く個々のケースに関わることができるようになり、特定相談の件数だけでなく、日頃困っていることについての相談ごとも増え、日中だけでなく、休日や深夜の電話対応等の支援も増えてきている。また、自立支援協議会や個別支援会議へも参加し、課題検討や情報共有を行った。

平成26年度より取り組んできた「若者の集い」については実施することができなかった。次年度こそは、年2回を目標に実施し、参加者と交流の機会を図っていきたい。

### 1 事業内容

#### (1) 指定特定相談支援事業（計画作成）

サービス利用支援・障害児支援利用援助  
継続サービス利用支援・継続障害児支援利用援助

#### (2) 指定一般相談支援（地域移行・定着）

地域移行支援  
地域定着支援

#### (3) 障害児相談支援事業

サービス利用支援・障害児支援利用援助  
継続サービス利用支援・継続障害児支援利用援助

#### (4) 四万十町相談支援事業

福祉サービスの利用の援助  
社会生活力を高めるための支援  
専門機関の紹介  
調整会議等への参加  
社会資源を活用するための支援  
権利擁護のために必要な援助  
その他の生活相談に対する助言・指導

## 2 相談受案件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	151	187	153	143	151	245	192	264	181	166	140	329	2,302

## 3 相談支援方法別件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
家庭訪問	23	30	25	18	18	21	25	18	21	18	15	41	273
来所による支援	10	8	5	1	1	3	2	4	2	1	1	3	41
同行	1	2	1	1	1	2	2	1	2	1	2	4	20
電話	85	106	108	88	101	143	84	154	108	98	78	178	1,331
関係機関との連携	31	19	7	12	22	45	60	65	25	19	32	88	425
個別支援会議		1	2	1		1	1		5	1	1	3	16
その他	2	21	5	22	8	30	18	22	18	12	11	15	184
合計	151	187	153	143	151	245	192	264	181	166	140	329	2,302

## 【介護保険法による指定居宅サービス事業】

### 《デイサービスセンター緑林荘》（通所介護及び総合事業通所介護施設）

今年度も居宅サービス計画に沿って、居宅介護支援事業所とも連携を図りサービスの提供に努めた。

10月に開設した町内の小規模多機能事業所へのご利用者の利用変更や、職員の人事異動などにより、利用者数と職員配置が変更したため、1日の利用定員を火曜日・金曜日を40名、月・水・木・土曜日を35名とした。

月平均実人数は90名で前年度93名より3名減少し、延べご利用者数では、前年度より547名減少し、年間では9,475名であった。今年度は総利用人数の減少に加え、要介護度の高いご利用者が減少し、逆に要支援や事業対象の利用者が増加したため、収入は大幅に落ち込んだ。

ご利用者の平均要介護度は年間1.6（男性2.3、女性1.3）と男性の要介護度が高めで、女性は要介護度が低い傾向にある。事業対象者から要介護2までの方が全ご利用者数の8割を占める結果となった。要介護3以上の重度のご利用者は全ご利用者数の2割にとどまり、軽度化が顕著である。

年齢別では、85歳以上が全体の7割を占め、90歳以上も全体の4割と、平均年齢は高くなっている。最高齢は女性が100歳、男性は96歳である。

緑林荘は、町より災害時の福祉避難所に指定されており、災害時に高齢者や障害者など、災害弱者を受け入れる体制づくりを進めており、丸山地区の防災訓練に協力した。

今年度も認知症ケアの基礎となる水分摂取量を確保するために、必要な水分量を確保できていないご利用者には提供の工夫など検討を行った。

通所介護計画書については、定期的な見直しを6ヶ月に1回、必要に応じ随時の見直しを行い作成するとともに、ご利用者ご家族に説明し同意が得られた計画書に基づき個別対応の提供に努めた。

また、月に1回職員会を実施し職員の情報の共有化を図り、日々業務内容の見直しを行いながらサービスを提供することでご利用者のニーズに応えることができた。

#### <総合事業通所介護事業>

総合事業通所介護計画書は3か月毎に見直しを行い、支援事業所には毎月サービス実施状況の報告を行いながらサービスの提供に努めた。

本年度は運動器機能向上加算は取得しなかったが、百歳体操を中心に運動を行い、下肢筋力を強化する為、外での歩行訓練も積極的に取組んで行ってきた。また、認知症予防にも努め様々な脳トレーニングも引き続き行ってきた。

ほとんどの方が現状維持できているが、中には自宅で転倒され、骨折・入院される方もいた。全体的には高齢の方が多く現状維持を保つことが精いっぱい状態であるが、引き続き運動機能向上と認知症予防の強化に努める。

## 1 事業内容

介護保険にかかる通所介護及び四万十町総合事業通所介護事業

## 2 活動内容

### (1) 主な行事

	行事名
4月	お花見弁当1回、クッキング（おやつ）2回
5月	クッキング（おやつ）2回
6月	クッキング（おやつ）2回
7月	第11回りょくりん交流会、救急法、クッキング（おやつ）2回
8月	クッキング（おやつ）2回
9月	クッキング（おやつ）2回
10月	クッキング（おやつ）2回
11月	クッキング（おやつ）2回
12月	クリスマス会1回、年忘れ会4回・餅つき1回、クッキング（おやつ）2回
1月	新年会、クッキング（おやつ）2回、避難訓練
2月	クッキング（おやつ）2回
3月	自主避難訓練・クッキング（おやつ）2回

※ 敬老の日に合わせてご利用者に手作りプレゼントを手渡す

※ 松葉川保育所園児との交流（10月19日）

※ 川口保育所園児と交流（11月24日）

### (2) 機能訓練とレクリエーション

個別対応を基本とし、選択肢できるメニューの提供を毎回実施できた。午前中は月間プログラムをたてゲームの提供を行うとともに、運動を目的とした歩行訓練には、多くのご利用者が自主的に参加し、継続して行うことができた。季節の風景を見ながら気分転換を図る方や、下肢力の補強にと目的をもち毎回休まず参加する方も増えた。百歳体操にも多くの方が積極的に参加し機能向上を図ることができた。

### (3) 余暇・創作活動

ご利用者が自己選択し、それぞれのスタイルで、趣味的な活動を継続して行えた。編み物や縫い物、囲碁、壁画作り、折り紙、カレンダー作成など幅広く活動が行われた。また、脳トレーニングやリズムを取り入れた手遊びなど毎回提供を行い、脳の活性化に努めた。ペンシルパズルや曼茶羅塗り絵などが人気を集めた。

### (4) その他

①四万十清流消防署協力による避難訓練と消火訓練の実施（1月18日）

自主避難訓練の実施（3月20日）

②丸山地区生活支援サポーター研修・防災訓練（9月10日）

③四万十町地域ケア会議（4月21日、7月21日、10月20日、1月19日）



3 年齢別登録者数集計表

平成30年3月31日現在

	男 性	女 性	合 計
6 4 歳 以 下			
6 5 歳 ~ 6 9 歳	2		2
7 0 歳 ~ 7 4 歳			
7 5 歳 ~ 7 9 歳	4	6	10
8 0 歳 ~ 8 4 歳	4	4	8
8 5 歳 ~ 8 9 歳	5	31	36
9 0 歳 ~ 9 4 歳	4	29	33
9 5 歳 ~ 9 9 歳	2	4	6
1 0 0 歳 以 上		1	1
合 計	21	75	96

※ 最高齢は100歳の女性（要介護3）

	男 性	女 性	合 計
平均年齢（平成29年3月31日現在）	85歳4か月	88歳2ヶ月	87歳5か月
平均年齢（平成30年3月31日現在）	84歳5か月	88歳3か月	87歳5か月

4 要介護別利用実績集計表（平成29年4月～平成30年3月）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	25	27	26	26	27	26	26	26	26	24	24	27	310
1日平均利用者数	29.6	29.9	30.6	31.8	33.4	33.1	29.7	30.5	31.5	29.9	28.5	28.1	30.5
事業対象	8	9	9	8	17	18	16	18	17	16	16	13	165
要支援1	36	33	37	36	40	37	37	40	40	42	49	56	483
要支援2	70	67	73	69	81	85	85	86	88	71	65	80	920
要介護1	279	306	295	312	329	335	301	283	325	273	263	331	3,632
要介護2	142	177	172	183	184	175	172	183	180	159	148	141	2,016
要介護3	103	105	92	94	137	127	90	112	116	114	109	110	1,309
要介護4	56	52	56	60	65	58	59	60	50	42	33	27	618
要介護5	45	59	62	64	49	25	13	11	4				332
延べ利用者数	739	808	796	826	902	860	773	793	820	717	683	758	9,475

（平成28年度 延べ利用者数 10,022名）

## 《デイサービスセンターさくら貝》（通所介護及び介護予防通所介護施設）

平成29年度も行政や地域住民、利用者代表やご家族の参加のもと運営推進会議を年2回開催し、さくら貝の運営状況などの報告を行った。活発な意見や要望を受け、地域のニーズ把握にもつながり、より地域に密着したサービスの提供に努めることができた。

ご利用者の状況については、水曜日のみ曜日限定として利用受入数を15名とし新規でのご利用数も増え、昨年比で増収となった。

地域との関わりについては、地元の小・中学校・隣接する保育所との交流が活発であり、ふれあいの機会が多くあった。特に保育所とは合同でのクリスマス会やもちつき、お楽しみ会などともに楽しむことができた。合同避難訓練も例年通り実施し、訓練を重ねることで危機意識も高まっている。

第3回さくら貝交流会もご家族や地域の方が大勢参加されさくら貝でのサービス内容や利用時のご利用者の様子などもより知っていただくことができた。

介護予防事業については、百歳体操やストレッチ体操、下肢筋力運動、レク、手芸、クッキングなどを継続することで、身体機能の維持、向上を目指した取り組みを行った。また、新たな取り組みとして生け花を取り入れ、男性、女性ともに毎回季節ごとに個性ある生け花となり大好評であった。

通所介護計画については、ご利用者の状態を把握し定期的な見直しを行い、一人ひとりにあったケアプランを作成し、サービスの提供を行った。

### 1 事業内容

- (1) 介護保険にかかる通所介護及び介護予防通所介護事業
- (2) 介護予防・日常生活支援総合事業

### 2 行事内容

四季折々にご利用者の楽しみに合わせた行事を行った。

#### (1) 主な行事

	行事名
4月	お花見弁当(1回)、クッキング(おやつ)2回
5月	興津保育園合同避難訓練、母の日週間、クッキング(おやつ)2回
6月	父の日週間、クッキング(昼食)2回、(おやつ)2回
7月	クッキング(昼食)2回、(おやつ)2回
8月	クッキング(おやつ)2回、(おやつ)2回
9月	歌謡ショー、敬老の日週間、クッキング(昼食)2回、(おやつ)2回、運営推進会議
10月	クッキング(昼食)2回、(おやつ)1回
11月	興津保育園合同避難訓練、クッキング(昼食)2回、(おやつ)2回
12月	もちつき、忘年会2回、クッキング(おやつ)2回

1月	クッキング（昼食）2回、（おやつ）2回
2月	節分、さくら貝サロン、クッキング（昼食）2回、（おやつ）2回
3月	クッキング（昼食）2回、（おやつ）2回、運営推進会議

（その他）

\* 誕生日、敬老の日に手作りのカードをプレゼント

\* 母の日、父の日に手作り記念品のプレゼント

## （2）レク内容

ご利用者の心身の状態などにあわせ、レクリエーションを実施した。主に午前はスポーツレクを中心に、午後には頭の体操や卓上でのレクを実施した。また、下肢筋力低下を予防するため、下肢筋力運動や百歳体操、ラジオ体操、ストレッチ体操など実施した。

## （3）ボランティア来園状況

9月28日 大正新生カラオケクラブ様による歌謡ショー(出演者8名、地域の方28名)

4月～3月 毎週水、金（1名登録者）

## （4）保育所との交流

5月19日 合同避難訓練・消火訓練・防災ビデオ鑑賞

5月27日 こいのぼり運動会

7月 4日 七夕飾りつけ

7月19日 納涼祭

10月25日 秋の運動会

11月28日 合同避難訓練・消火訓練

12月12日 クリスマスツリー飾りつけ

12月22日 クリスマス発表会

12月28日 もちつき

3月 8日 卒園お別れ会、卒園児プレゼント贈呈(2名)

## （5）小中学校との交流

12月 7日 興津中学校全校生交流学习

3月14日 興津小学校卒業生卒業プレゼント贈呈(3名)

3 年齢別登録者数集計表

平成30年3月31日現在

	男 性	女 性	合 計
6 4 歳 以 下			
6 5 歳 ~ 6 9 歳			
7 0 歳 ~ 7 4 歳		2	2
7 5 歳 ~ 7 9 歳		2	2
8 0 歳 ~ 8 4 歳	1		1
8 5 歳 ~ 8 9 歳	2	11	13
9 0 歳 ~ 9 4 歳		4	5
9 5 歳 以 上		2	1
合 計	3	21	24

	男 性	女 性	合 計
平均年齢 (平成30年3月31日現在)	84歳2ヶ月	86歳7ヶ月	86歳5ヶ月
最 高 齢 (平成30年3月31日現在)	86歳	96歳	

4 要介護別利用実績集計表 (平成29年4月~平成30年3月)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	25	27	26	26	27	26	26	26	26	24	24	27	310
1日平均利用者数	7.72	7.44	8.35	8.15	8.48	8.73	8.38	9.19	10.12	9.13	10.08	9.41	8.8
事業対象者								3	4	3	10		20
要支援1	5	10	7	9	9	9	3	9	4	4	4	4	76
要支援2	20	15	12	10	11	10	17	15	28	18	23	16	180
要介護度1	69	75	96	89	77	81	66	80	73	65	74	68	913
要介護度2	56	64	64	65	82	76	83	82	103	80	81	102	909
要介護度3	43	37	38	39	50	51	49	50	26	25	26	39	473
要介護度4									25	24	24	25	98
要介護度5													
延べ利用者数	193	201	217	212	229	227	218	239	263	219	242	254	2,714

(平成28年度 延べ利用者数 2,402名)

## 《居宅介護支援事業所 りょくりん》

今年度はご利用者の入退院、施設入所や病気等で亡くなる方が多い1年であった。また、地域包括支援センターや病院の相談員から新規利用の依頼を受け契約を交わしたが、介護度は低い方が大半であった。入院中に介護度の見直しを行い介護度が上がっても、退院後の更新の際、介護度が下がる事もあり安定した収入とは至らなかった。

要支援者については担当件数はあまり変わらない為、今の人数を確保していきたい。

ご利用者のうち、独り暮らしのご利用者の状態も安定しない事もあり、今後も注意をしながら近所の人やサービス提供事業所と連携を取り離れている家族への状態の報告も気を付けながら安心して生活が送れるよう努めて行きたい。

今後も各サービス事業所や家族、親類、近所の人とも連絡を取り合いながら、ご利用者がその人らしく安心して自宅で生活が送れる様支援していく。

### 1 事業内容

- (1) ケアプランの作成
- (2) 要介護認定の申請、及び更新申請の代行
- (3) 予防給付のケアプラン作成（四万十町からの委託）

### 2 研修内容

6月28日	四万十町ケアマネージャー連絡会（四万十町役場）
7月27日	四万十町ケアマネージャー連絡会（四万十町役場）
8月 8日	平成29年度認知症介護基礎研修（老人保健施設 暖流）
8月10日	四万十町ケアマネージャー連絡会（四万十町役場）
8月24日	〃
10月 5日	〃
10月16日	自殺予防（ゲートキーパー）ステップアップ研修（四万十町役場）
11月15日	入退院調整ルール検討会（四万十町役場）
12月 2日	通所サービス連絡会（研修会）（四万十町役場）
12月22日	四万十町ケアマネージャー連絡会（四万十町役場）
1月18日	認知症ケアにおける多職種協働研修会（四万十町役場）
2月28日	四万十町ケアマネージャー連絡会（四万十町役場）

### 3 月別事業内容

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業対象者					1	1	1	1	1	1	1	1	8
要支援1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	16
要支援2	11	10	9	8	8	8	8	7	8	8	7	7	99
要介護1	10	10	9	9	9	16	16	15	18	17	17	15	161
要介護2	7	7	8	8	8	8	7	6	6	7	7	8	87
要介護3	3	3	3	3	3	3	3	4	3	2	2	2	34
要介護4	2	2	2	3	3	3	3	3	3	2	2	2	30
要介護5	1	2	1	1	2	2	2	2	3	2	3	3	24
合計件数	35	36	33	33	35	42	41	39	43	41	41	40	459
新規利用		1				7			3				11

\* 新規利用者には要介護から要支援、要支援から要介護への変更を含む

\*

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護認定の申請代行	1	5	3	5	1	1	6	4		2	3	1	32
入院・入所件数		3	1	1			1	1	1	1	3	3	15
退院・退所件数	2			1			2	1	3			4	13
住宅改修		2					1						3

## 《 職 員 研 修 》

明成会の職員として、法人、施設の方針にもとづき、使命感をもって各自の役割を的確に遂行できるように組織全体でサービスの質の向上と定着につながる育成的な職場環境を目指し、年間研修計画に沿って研修を行った。

法人研修では、昨年度に引き続きリーダー養成研修として外部講師を招き「組織づくりを学ぶ」をテーマとして第一線マネージャーの組織づくりと実践的なマネジメント論について学ぶとともに、人事制度の改正に向け重点的に取組むこととした。また、全職員を対象とした合同研修会では、事業所の垣根を超えた意見交換や情報交換を行うことにより各事業所の取組み内容の理解を深めることができた。

### 1 法人研修

研修内容	開催日	対象者	内 容
新任職員研修	4月4日～7日	5名	明成会の経営理念、法人概要を理解し、福祉施設職員としての必要な基礎的知識・技術・技能の習得
リーダー養成研修	8月24日 11月8日 1月24日	5名	外部講師を招き、明成会の次期リーダーとして期待する20～30代の職員を対象にこれからの明成会の成長と発展の一翼を担ってもらうための研修
人事制度の見直し	8月23、25日 11月7、9、10日 1月23、25、26日	運営会メンバー	人事制度の見直し、複線型役割等級制度を導入に向けた検討
3等級職を対象とした研修	11月7日	昇格者及び採用者5名	3等級職を対象に外部講師による研修
人事評価者研修	5月2日 11月9日	運営会メンバー	人事評価制度運用の基本的な考え方・実務などについての学習
経営理念・経営方針についての研修	6月20日	全職員	明成会の経営理念と経営方針の理解と浸透を図るために、ディスカッションの実施
人権学習会	8月29日	全職員	強度行動障害について専門的な知識と対応について学習
新規事業所開設後の取組報告及び法人内発表会	1月9日	全職員	グループホーム開設にともなう「新」事業所の取組み内容と、法人内の研究や取組み内容についての発表会

## 2 事業所研修

### 【 オイコニア 】

開催	内 容
4月	ノーリフト研修
5月	リスクマネジメント（事例検討2例）
7月	ノーリフト研修
9月	不審者対策・防犯訓練（警察署と連携訓練）
10月	ノーリフト研修
11月	感染対策・服薬研修（講師：薬剤センター）
12月	ノーリフト研修
2月	心肺蘇生AED（講師：フクダ電子）
3月	権利擁護虐待防止研修（事例検討）

### 【 緑林荘・居宅りよくりん・笑和 】

	内 容
4月	マニュアルの見直し
5月	介護技術基本動作 倫理及び法令遵守、高齢者虐待防止、個人情報保護、プライバシー保護、身体拘束（さくら貝と合同）
6月	ノロウイルス対応と実践、食中毒発生まん延防止
7月	ヒヤリ・ハット・事件事例検討 救急法（さくら貝と合同）
8月	介護予防
9月	事故予防、事件事例検討
10月	リスクマネジメント 認知症ケア・事例検討（さくら貝と合同）
11月	水害時の対応
12月	インフルエンザ・ノロ対策
1月	アンガーマネジメント 介護技術基本動作（さくら貝と合同）
2月	事故発生時の対応、 食事形態と個々の嗜好（さくら貝と合同）
3月	マニュアルの見直し、自主避難訓練



【 さくら貝 】

	内 容
4月	平成29年度事業計画、研修計画
5月	避難タワー、避難場所確認 倫理及び法令遵守、高齢者虐待防止、個人情報保護、プライバシー保護、身体拘束（緑林荘と合同）
6月	ノロウイルス対応と実践、食中毒発生まん延防止
7月	ヒヤリ・ハット・事件事例検討 救急法（緑林荘と合同）
8月	介護予防
9月	認知症について
10月	認知症ケア事例検討（緑林荘と合同）
11月	研修報告
12月	自己啓発活動報告
1月	話し方について 介護技術基本動作（緑林荘と合同）
2月	自己啓発活動報告 食事形態と個々の嗜好（緑林荘と合同）
3月	平成30年度に向けて

## 広報活動

明成会で行っている事業を積極的に広報することにより、広く地域の方々に明成会を知っていただくことを基本的な目的としている。引き続き各事業所の広報誌、ホームページやフェイスブックについてはさらに定期的な更新をおこない明成会の事業や活動内容を分かりやすく、見やすい情報発信を心がけていく。

[公益事業]

《 配食サービス事業 》

前年度同様に町内の高齢者や障害者の方に対し、昼夕2食の配食を行った。四万十町配食サービス事業等に該当する方は1食300円で利用できるため、配食サービスを希望するご利用者ニーズは増加傾向にあるが、町内の受託事業所では十分対応できない等の諸課題が明らかとなってきたため、補助対象の決定には慎重にならざるを得ない状況である。そのため、冬場、利用者数が減少するも新規利用者の確保には直ぐにつながらない状況もあったが、町当局と連携・調整を図りながら事業を実施してきた。また、非該当の方には全額個人負担を条件に契約し、配食サービスを実施してきた。

前年度と比較すると1日平均23.9食増加となり安定した収入を得ることができたが、調理委託経費の見直しや食器類の購入、配食車輛の購入等により収支状況は厳しいものとなった。しかし、今後も公益的な取組みの一つと考え、事業の継続に向け町当局と話し合いながら前向きに検討していく。

本年度もご利用者の側に立ったサービスの提供を目指し、出来るだけ細やかな対応をしたいと考え、月1回ご利用者のお宅を訪問し、聞き取り調査を実施するなど、ご利用者のニーズに添った形で配食が提供できるよう努めてきた。また、常に新鮮な食材の選別や衛生管理を徹底し、安全なサービスの提供にも努めた。

配達は四万十町シルバー人材センターとの提携により4名にお願いし、3コースを交代で行った。配達の際にはご利用者の安否確認等を行い、普段の様子と変化があれば、関係機関やご家族に連絡をするなど、安心して在宅生活が送れるよう支援を行った。

月別配食集計表

	実績数			実利用者数	
	自費	公費	小計	自費	公費
4月	2,385	143	2,528	8	83
5月	2,482	137	2,619	8	84
6月	2,387	163	2,550	9	86
7月	2,501	162	2,663	12	92
8月	2,584	163	2,747	12	91
9月	2,508	180	2,688	11	91
10月	2,631	224	2,855	13	94
11月	2,571	218	2,789	13	97
12月	2,689	263	2,952	12	99
1月	2,300	260	2,560	12	91
2月	2,176	217	2,393	13	89
3月	2,504	216	2,720	12	92
合計	29,718	2,346	32,064	135	1,089
月平均	2,477	196	2,672	11.2	90.7
1日平均	81.4	6.4	87.8	—	—

[収益事業]

◀ 宿舍運営事業 ▶

職員宿舎(平成6年築)の今年度の平均利用率は84.3%と昨年より若干の低下は見られたが、町内の不動産会社からの入居希望者の紹介による外部利用者の利用が増えたため、事業収入は16%の増収となる。職員利用については、町外の新規採用者等も見られず、利用希望者は少なくなっている。

また、各部屋の老朽化が進んでいるため、計画的に建物の維持管理に努めていきたい。

利用状況一覧表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
職員	3	3	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	17
外部	4	5	4	4	4	6	7	8	8	8	8	8	74
空室	2	1	3	4	4	2	1						17